

NIFAアクションプラン2018→2022	全体	頁中の	頁
1. 現状の概要と今後の方向性		地区協会 キッズ委員会 連盟	
<p>【2018年における現状】 キッズプロジェクトがスタートし継続的に巡回指導やフェスティバル等を行なってきた事により、未就学児がサッカーに親しみ機会は増え、新潟市・長岡市等の中心地だけではなく、他の市町村においても地道に活動は行なわれている。少子化が進む中でサッカー人口を増やす・サッカーファミリーを増やす事を考えると、今後もキッズ年代（10歳以下）の活動を継続的に取り組み、そしてその活動に関わるマンパワーを増やしていくことが今後にも必要なことである。</p>			

NIFAアクションプラン2018→2022	全体	頁中の	頁
2. 中期目標（2030年）		地区協会 キッズ委員会 連盟	
<ul style="list-style-type: none"> キッズ年代の活動という事を考えると、県でのメインとなるフェスティバル等も大切ではあるが、生活圏内でサッカーに触れ合う環境が大切である。地区での活動の充実とより多くの子どもたちにアプローチできるような仕掛けづくり、すでにサッカーを行っている子どもたちへの満足度の向上を高めて行きたい。 U-6（未就学児）の活動が、4種登録チーム数の50%での活動 			

NIFAアクションプラン2018→2022	全体	頁中の	頁
3. 長期目標（2050年）		地区協会 キッズ委員会 連盟	
<ul style="list-style-type: none"> 各クラブ、チームにおいてキッズ年代の活動が行われ、より多くの子どもや大人のサッカーに関わる環境が増える。 U-6（未就学児）の活動が、4種登録チーム数の90%での活動 			

NIFAアクションプラン2018→2022					全体 頁中の 頁
4. 現状分析					地区協会 キッズ委員会 連盟
No. と 事項	2022年具体的目標	2018年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
No. 1 巡回指導	年間800回の実施	年間600回程度の実施	60%	指導者の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・全県の園には、管轄団体を通し案内を配布済み ・キッズリーダーの養成 ・Jクラブ、地域クラブとの連携強化 ・委員会組織の強化
No. 2 フェスティバル	新潟・長岡・上越・県央・魚沼・下越での実施	未開催地域もある。	40%	4種チームとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・大会スケジュールとの調整 ・JFAキッズフェスティバルの地区開催 委員会組織の強化
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2022年目標に向けての2018年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

NIFAアクションプラン2018→2022					全体 頁中の 頁
5. 具体的アクション					キッズ委員会 連盟 地区協会
No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように
1	キッズ委員会	2022年	県内全域		<ul style="list-style-type: none"> ・全県の園には、管轄団体を 通し案内を配布済み ・キッズリーダーの養成 ・Jクラブ、地域クラブとの 連携強化 ・委員会組織の強化
2	キッズ委員会	2022年	県内全域		<ul style="list-style-type: none"> ・大会スケジュールとの調整 ・JFAキッズフェスティバルの 地区開催 委員会組織の強化

↑現状分析での事項No.に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です